

## 会 議 録

会議の名称	守谷市図書館協議会（令和元年度 第4回）			
開催日時	令和2年2月20日（木） 開会：14時00分 閉会：15時30分			
開催場所	守谷市役所 庁議室			
事務局（担当課）	教育委員会 生涯学習課			
出席者	委員	長谷川委員長，大塚委員，唐木田委員，赤堀委員，赤山委員，福田委員，吉成委員，三澤委員（出席：8名）		
	その他			
	事務局	石川館長，平塚副館長 桐生係長		
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	3人	
公開不可の場合はその理由				
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 協議内容 (1) 令和元年度事業報告 (2) その他 4 閉会			
確定年月日	会議録署名			
令和2年8月19日	委員長 長谷川登代			

## 審 議 経 過

### 1 開 会

石川館長 8名の委員が出席，守谷市図書館協議会設置条例第6条第2項の規定により会議は成立。傍聴者は3名。

### 2 挨 拶 長谷川委員長

### 3 協 議

#### (1) 令和元年度事業報告について

長谷川委員長：協議（1）の令和元年度事業報告について，事務局の説明を求めます。

石川館長：資料1についてご説明します。利用者数の著しい減少について検証していた結果が昨日判明しました。平成31年2月（平成30年度）のシステムバージョンアップに伴い，WEB-OPACによる貸出延長処理のカウント方法が変更されたことによるものだと分かりました。本日の資料は間に合っていないようですが，昨年度との比較において同じ条件にする必要があるため，次回の資料からは補正後の数値を採用します。

長谷川委員長：ご意見，ご質問のある方はお願いします。

大塚委員：誰が見てもわかるように，はっきりと明記していただくようお願いします。

長谷川委員長：他にございませんか。それでは，次の説明をお願いします。

#### —桐生係長から説明—

学校教育改革プランの4を受けて，学校図書館との連携を密にして行ってきた学校図書館への支援業務実績を資料5にまとめた。主なものは次のとおり。

- ・5年に1回のシステム更新があり，新システムに関する研修を実施。
- ・計画訪問において図書館が関係する授業が行われる際に見学し，その内容について学校司書に研修を行った。
- ・ビブリオバトル打合せを19回実施。今年度は，授業に組み込む形で中学校4校に働きかけをした，少しずつ各校で実施が始まっている。さらに来年度は，各中学校から代表の生徒を選出してもらいイベント型の大会を実施したいと考えている。
- ・小学校を中心に，ブックトークを実施した。昨年度に比べるとはるかに依頼数が増え，昨年度は7回だったところ，今年は15回となった。
- ・ブックパックの貸出を実施。各学年に50冊ずつ用意し，1校当たり合計300冊を3校分用意し，これまでの3学期制の時の区切りで，3校ずつ1年で全9校に貸出。

- ・御所ヶ丘小学校の改修工事に当たり、図書室の改修に対する書架の種類や配置等のアドバイスを実施。

長谷川委員長：ありがとうございました。ご意見がありましたらお願いします。

唐木田委員：まず一つ、ブックトークは、学校からの依頼で行っているのですね。孫が小学生で、どうして来ないのかなと言っていたもので。小学生のまち探検を行ったということなんですが、まち探検は、図書館とどう関わっているのかを説明していただけますでしょうか。

桐生係長：小学生のまち探検は、2年生の単元の中にありまして、学校から歩いて行ける範囲にある事業所や施設などに行ってみ学したりするものです。そのため、歩いて来ることができる大井沢小、大野小、黒内小の3校ということになっています。

唐木田委員：はい、わかりました。

福田委員：大井沢小学校の福田です。まち探検は生活科の単元で、自分の住んでいる地域のことを探検するというものです。自分の住んでいる所を知るという趣旨で、その中にある図書館も訪れているところです。

唐木田委員：これがですね、とても楽しかったらしくて、そんなに楽しいのであれば大きく広げられたらいいのにと考えた次第です。

福田委員：小学校2年生の生活科の授業の枠だと、どうしても住んでいる所、学区内となってしまうんですが、図書館に多くの小学生に来てもらって体験してもらおうということであれば、3、4年生で守谷市全体を知ることが入ってくるので、そういう授業の枠内であれば可能性はでてくると思います。

長谷川委員長：小学生まち探検というタイトルの出し方だと図書館との関わりが見えづらいのかなと思います。

福田委員：そうですね。図書館だけを見ているわけではないのですが、近くの学校の子どもたちは、図書館での説明を聞いて楽しいだけではなく、学びになっています。

平塚副館長：資料の記載に問題があったと思いますので、「小学生まち探検受入れ」などに表記を改めたいと思います。それから、一段上の内容も「中学生職場体験受入れ」としたいと思います。

吉成委員：別のことでよろしいですか。まず、中学生のビブリオバトルを新規事業として取組まれたことがすごいことだなと思いました。以前申し上げましたが、守谷の小学校の読書への取組みは非常に高く、県が主催する読書達成率も高いのに比べ、中学校はあまり高くないので起爆剤をとという思いも込めて、このビブリオバトルをとということで取組まれたと推察するのですが、その辺の趣旨との現在の手ごたえと今後の見通しについて教えてください。

桐生係長：趣旨は吉成委員がお話しされた正にそのとおりです。小学生に比べて中学生の読書率は格段に低いです。これまで経験したことや生徒に直接話を聞く中で、思春期の色々な要因があって下がってしまっているということが分かりました。決して読んでいない訳ではないのですが、数が下がっているのは否めません。授業でビブリオバトルをすることによって、必ず一冊は読まなければならない、また友達が紹介する本にも興味を持ってもらい読書の幅を広げてもらいたいというところですが、ビブリオバトルはゲームのようなものですが、その裏に期待される効果がありまして、良い本に出合う、また、スピーチ力やプレゼンテーション力の訓練にもなるといったことがあります。また、本の紹介をとおしてコミュニケーションがとれるということもあります。来週に、御所ヶ丘中学校の2年生全クラスがビブリオバトルを実施する予定になっていて、クラスごとの実施ではなく、5クラスの生徒が混ざったグループを組んで実施する予定だそうです。ビブリオバトルはイベント型で実施することが多いですが、最初からその形にすると生徒から拒否反応が出るであろうということで、まずは授業の中で全員が経験してもらい、来年度はイベント型の開催をしたいと考えております。来年度の日程等が固まってきましたので、3月の校長会でお話できるように進めています。

長谷川委員長：はい、ありがとうございました。他にご質問はありますか。

赤堀委員：今日の毎日新聞のみんなの広場っていう所に「ビブリオバトルに期待」という記事がありました。前回の会議で、三芳町立図書館に行った時のビブリオバトルの開催についてお話ししたんですけども、中学校で精力的に取り組んでいただいて、これがもう少し広がって守谷市立図書館の新しいイベントの一つに成長していくといいなと期待しています。また、桐生さんがすごく頑張っているのでも、時間がないかもしれないのですが、いろんな所に行って、またそれを持ち帰ってきていただければいいかなと思いました。

長谷川委員長：他にございませんか。

大塚委員：お話を聞いていて、とても楽しそうで見たいなと思いました。今年直営に切り替わったというところで、皆さんまた新たな思いを持って熱心に仕事に取り組んでいらっしゃると思うんです。さっき、ビブリオバトルの目的の一つとしてプレゼンのこともおっしゃったと思うんですが、この事業報告は一年間皆さんが業務に勤めることが理解できる資料ですよ。そこで、今おっしゃったようなこと、皆さんがこんなところに力を入れてどうだったという考察をぜひ入れて欲しいと思いました。新規事業については、より目立つようにして、どういう成果があったのかを教えて欲しい。そうすると、市民は期待して、

こんなに取組んでくれる職員がいる図書館なんだなと応援したくなると思います。

長谷川委員長：はい。ありがとうございました。我々も一般市民ですけど、一般市民の立場に立って、文言として入れられる部分は入れていただいて、説明を加えていただければありがたいということですよね。私も質問があります。ニューエデュケーション・エキスポ2019というのがありますが、どのような研修会だったのですか。それと、8月26日に牛久市の岡田小学校の見学とありますが、どのような目的で行かれたのでしょうか。私も行ったことがあります。ユニークな作りの図書室でしたので、その辺りも関係していますか。

桐生係長：まずニューエデュケーション・エキスポですが、年1回教育に携わる人に向けて開催されるイベントで、その中に「読書活動活性化に向けた学校連携・学校支援への取組について」という講演会がありましたので出席してきました。それから、学校図書館などに向けた面白いシステムを紹介している企業が出展していて、それも併せて見学してきました。次に、8月26日の牛久市の岡田小学校の図書室見学ですが、委員長のおっしゃったとおりでして、松前台小学校の校長先生の前任校で、改修工事が終わって素晴らしい図書室になったからぜひ見に行った方がいいと薦めていただきました。そのため、統括学校司書の鈴木と松前台小学校学校司書と一緒に伺いました。二つの図書室の間の壁を丸くくり抜いてつなげたようなレイアウトになっていて、利用率が各段に上がっているということ、岡田小学校で行われている取組み、牛久市での取組み、学校司書の勤務形態など事前に質問をお渡しして、それに答えていただくような流れにしました。

長谷川委員長：はい、ありがとうございました。以前伺った時に、子どもたちが来たくするような図書室になるように、本のレイアウトを考えたり、読んでほしい本を集めたり、読み聞かせをしたりしているということを知りました。他にございますか。

福田委員：資料5の表の4番目に計画訪問見学とありますが、学校の計画訪問というのは教育事務所の先生や市の教育委員会の先生が授業を見て、指導してもらうというもので、この場に市の図書館の職員が見学に来て勉強するというのは全国的にも珍しいんじゃないかなと思うのですが、計画訪問の授業を見たことの成果などを教えていただけるとありがたいなと思います。

桐生係長：こちらからビブリオバトルの実施を依頼する前に、授業でビブリオバトルを実施する所があり、伺いました。授業の中で、生徒さんが非常に楽しそうにやっていたというのがありまして、当初イベント型を提案する予定だったものを授業で実施していただくことに変更したと

いう経緯もございます。さらにそれを踏まえた上で、他の小学校でもやりますというお話をいただいて見学させていただきました。そこで、小学生と中学生ではどういった差が出てくるのかという点において、中学生は好きな本を一冊持ってくるということが出来ますが、その時は小学3年生だったのですが、先生がそれは少し難しいと判断され、単元に関連した本を先生が集め、その中から選んでビブリオバトルするという形をとっていました。やはり、小学生と中学生の差を感じたところもありましたので、今後例えば小学校にも提案していければなと思うのですが、中学校と同じにはいかないであろうと考えさせられました。そういったところの成果はあったかなと感じています。

長谷川委員長：他にありますか。

赤山委員：指定管理で実現できなかった部分を実施していく上で、大変なプレッシャーがあったと思います。学校司書への研修についてお伺いしたいのですが、選書についての研修は実施されたのでしょうか。

桐生係長：はい。選書については、どの本がいいということではなく、求められる図書の配分比率についての資料を提示して、これに近づけられるといいですねという話をしました。学校図書館システムで所蔵資料の分類配分が分かるようになっていて、自分の学校の本の偏りなどを見ることが出来ます。また、選書とともに除籍についても苦慮しているので、併せて除籍の資料も提示して話しました。

赤山委員：はい、ありがとうございます。学校司書さんの悩みとして「選書がわからない」ということを結構伺いますので、そういう要望があって対応されたということですよ。ぜひ、来年度以降も続けていただければと思います。

長谷川委員長：他にないようでしたら、次にお願いたします。

—平塚副館長から資料2について説明—

- ・前回日程が未定だった2/7以降の行事について説明。

長谷川委員長：ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

吉成委員：まず感想ですが、新規事業がこんなに多くてとても頑張っているという印象です。次に質問ですが、工作というのがいくつもあるのですが、そのねらいと効果はどんなだったのでしょうか。それから、3月の内容に科学に関するものがいくつもありますが、科学への着目というか、ねらいなどがあれば。そして来年度は別の方向性も出るのかとか、その辺を聞かせていただければと思います。

平塚副館長：はい。まず、かつての直営時代に子どもたちは工作が好きだという

ことを感じながら実施していただきましたので、ぜひまたやりましょうということでも実施しました。工作ということであると、普段は図書館を利用しないお子さんも図書館に足を運んでくれるので、図書館利用のきっかけにしてもらうということが開催目的の一つです。育児コンシェルジュと一緒にという工作がいくつかありますが、保育士または幼稚園教諭の資格を有している者が従事しておりますので、その経験や専門性を生かしてやっていただいているということで、開催数も増えました。科学についてですが、ちょうど今朝のニュースで取り上げられていましたが、理系女子を増やそうという取組みがあるとのことです。職員の中に、理系女子がおりまして、ちょうどいいタイミングで100冊の本を貸していただける情報を得ましたので、ぜひやってみようということでも開催を決めました。来年度の方向性ですが、現在のところちょっとまだお示しできない状態ではあります。すいません。

長谷川委員長：他にないようですので、次にお願いします。

—石川館長から当日配布資料（図書館おたのしみ袋について）等の説明—

- ・前回の会議の際に、実施の際に利用者の感想を募ってはどうかということをお大塚委員からご提案いただいた。感想カードに寄せられた意見をまとめたものを回覧する。
- ・今年度は多数のイベントを新規開催したが、継続の有無や開催方法を検討する余地のあるものもあった。

長谷川委員長：とても手間暇をかけて準備したということが利用する人にも伝わり、良いアイデアだったと思います。職員だけでなく、今後も委員の皆様からも何かあれば提案していただければと思います。

—平塚副館長から説明—

- ・資料3は前回から変更なし。
- ・資料4について、前回から追加した点を説明。
- ・資料5の5/5頁、2/20予定の内容において、「全学校司書3名」の表記を「学校司書3名」に修正。

## (2) その他

長谷川委員長：他にないようでしたら、次の議題に入ります。その他について事務局をお願いします。

—石川館長から説明—

- ・中央公民館の図書室のリニューアルオープンの日が6月2日（火）に決定（公民館は4/26（日）オープン）家具や本棚も新しくなる。
- ・これまでの絵本のコーナーが図書室から分かれてキッズスペースとなる。おはなし会や子ども向けのイベント等に使用する予定がある。
- ・収容力が下がるため、蔵書構成も変わる予定。

長谷川委員長：全体的にご質問がありましたらお願いします。

赤堀委員：資料6の説明がなかったようですが。

—平塚副館長から資料6について説明—

- ・6/11, 8/6, 11/4以降の内容を追加した点を説明

赤堀委員：私は、この中にあった会計年度任用職員に関して守谷市でどのように運用されるのかを教えてくださいたいと思います。

—平塚副館長から説明—

- ・会計年度任用職員の任用に関する概要を簡単に説明

長谷川委員長：他にありますか。

赤山委員：司書を育てている者として一つお願いがあります。司書資格を持っている職員について、時給を少し上げることがを要望していただくと有難いと思います。

石川館長：総務課との協議の中で、従事する仕事に違いがなければ、資格の有無で時給を変えることはできないということになりました。会計年度任用職員の中で、資格のあるなしによって仕事に差をつけるということは難しく、同額ということになりました。

大塚委員：全国的にはどうなんですか。

赤山委員：新しいこの会計年度職員制度については、開始前のために調査データがありませんが、以前のデータでは、数十円程度有資格者の手当があるというのが現状であったと思います。

長谷川委員長：保健師などは専門職で、他の職員とは仕事の内容も違うということだと思いますが、司書の場合はそこまでの線引きが難しいということなんですね。

平塚副館長：法的な制約がないことも業務に差をつけるのに難しい点かと。

長谷川委員長：司書も資格を取るために学んできている訳なので。

大塚委員：専門性を持つての知識、技術、判断というのはとても重要なことであって、専門性があるからこそ、直営に戻ってこれだけの結果が出せたと思います。すぐには認められなくても、司書の専門性を訴えてい



くべきだと思えますし、常日頃から裏付けのある評価を表に出していくことに努めてもらいたいと思います。

平塚副館長：これまでの資料は、昨年度との数の比較を中心にした資料です。今後、これらの結果を基にした評価資料を作成することになります。

長谷川委員長：他にはよろしいでしょうか。それでは以上で本日の議事は終了します。

#### 4 閉 会

石川館長：本日も、多くのご意見をいただきありがとうございました。それでは、以上をもちまして本日の図書館協議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。